

1 月保育目標

<年少>

ねらい

歌や曲のイメージや感情を表現する。

音楽を通して、友だちとの協同性を育む。

健康

排便の際、自分で拭こうとする。

人間関係

音楽会の練習をする中で、指揮を見ながら歌や演奏を揃える気持ちを持つ。

遊びや活動の中で、他者の考えや行動に気付き取り入れようとする。

環境

冬の自然に触れ、落ち葉の感触（パリパリ）水の冷たさなどに気付く。

言葉

絵本の内容を振り返り、感じたこと思った事を言葉で表現する。

年末年始に経験したことを、保育者や友だちに伝えようとする。

表現

音楽の強弱、ゆったり、はねる等、イメージを共有し音や体で表す。

<年中>

ねらい

生活リズムを整え、年長組に進級することを見据えて身の回りの整頓を自ら行う。

健康

鼻水がでたら自分でかむ。

シャツを入れたり、ボタンをとめたり等身だしなみを整える。

人間関係

集団遊びの中で、自分の思いを伝えつつ相手の思いにも耳を傾ける。

相手の考えや提案を聞き入れられるようになる。

環境

トイレのスリッパを並べたり、蛇口をきちんととめたり、次に使う人の事を考える気持ちを持つ。

言葉

かるた制作を通して文字にさらに興味を持ち、書いたり読んだりしながらお正月遊びに親しみを持つ。

表現

風や氷の冷たさを感じる中で、感触や変化を知る。

（たこあげや氷遊びなどを通して体で感じ、言葉で表す）

<年長>

ねらい

幼稚園生活が残り少ない事を意識し、仲間との交流を大切にしながら、一つ一つの活動に心残りがないよう丁寧に取り組む。

健康

ドッジボールやサッカーなど、戸外で十分体を動かして遊ぶ。

人間関係

自分たちで決めたルールやお当番などの役割をしながら、他児との交流を深める。

環境

白い息や霜柱など、冬の自然現象に触れ、興味や関心を深める。

言葉

郵便ごっこやカルタなど、文字に親しみ遊びを広げる。

表現

お正月に体験したことを絵や言葉にし、ごっこ遊びなどの表現を楽しむ。
音楽会に向けて、友だちと音を合わせる気持ちよさを感じ、楽器の音色の心地よさを味わう。

<コアラ>

ねらい	お正月にちなんだ風習「挨拶」「おせち料理」等に興味・感心を持つ（意味や内容を知る）と共に、普段から挨拶を大切にしようとする。
健康	食べ物の体への働きを知り、苦手な物にも挑戦しようとする。
人間関係	久しぶりの登園で友だち同士、声を掛け合い励ましあいながら、無理のない範囲で活動していく。
環境	「お正月」の遊び「カルタとり」「福笑い」「駒回し」「たこあげ」「羽根つき」等を通して日本の文化に親しむ。
言葉	「お正月」の遊びを通して、文字やカルタの言葉の響き「あひるがあるくのあ」「ようふくよそいきのよ」等の響きに興味を持ちながら楽しむ。
表現	節分についての絵本を見たりしながら意味を知り、豆まきに参加する為の豆入れの制作に取り組む。 鬼→嫌な事、病気、災害、けんか等

<つぼみ 2>

ねらい	冬の自然を見たり触れたりしながら子どもたち同士で遊ぶ事を楽しむ。
健康	サーキット・戸外遊びで両足跳び、ぶら下がり、登る、またぐなどを活発に行い、冬の寒さに負けない身体を作る。
人間関係	「あけましておめでとう」「おはようございます」「よろしくおねがいします」等の挨拶を保育者や子どもたち同士で交わす。
環境	歌や合奏を大きな舞台で自信を持って発表する。 葉っぱや石に触れて冷たさを感じたり、吐く息が白い様子に興味を持ったりして自然と関わる。
言葉	絵本に出てくる内容を再現して遊ぶ中で、言葉のやりとりを楽しむ。
表現	はさみやのりを使ってたこあげ、福笑いを制作し、作った物で遊ぶ楽しさを味わう。 クラスのみんなで合わせて合奏する事を楽しむ。

<つぼみ 1>

ねらい	遊びや挨拶などを通してお正月について知る。 大音楽会に楽しんで参加する。
健康	冬休みからの生活リズムを取り戻しながら、元気に登園する。
人間関係	遊びや生活の中で順番があることを知り、守ろうとする。
環境	色々な場所で歌や踊りを披露し、人前に出る事に慣れていく。 お正月の伝統的な遊びを楽しむ。
言葉	絵本に親しみをもち、単語や擬音語などを保育者の後に続いて言う。
表現	保育者と一緒に歌ったり、踊ったりする事を楽しむ。